

第212期 報告書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループ第212期(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)の業績を取りまとめましたので、その概要をご報告申し上げます。

当期の世界経済は、中国など新興国で景気の拡大テンポが緩やかになったものの、米国で景気が着実に回復しているほか、欧州でも持ち直しの動きが続きました。またわが国経済は、個人消費が底堅い動きとなり、輸出や生産に持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫及び港湾運送等物流業界においては、貨物量の伸び悩みや競争の激化等により、また不動産業界においては、賃貸オフィスビルの需給改善の兆しがあるものの本格的な賃料水準の回復には至らず、引き続き厳しい状況のうちに推移しました。

このような状況の下、当社グループは、積極的な営業活動を推進し、物流部門では、医薬品等の配送センター業務の拡大、海外拠点の拡充等に努め、不動産部門では、テナントの確保及び賃料水準の維持・向上に努めるとともに東京・日本橋に災害に強い環境配慮型の高層オフィスビル「日本橋ダイヤビ

ルディング」の建設を進め、平成26年9月に竣工・稼働しました。他方、コスト管理の徹底と新しい物流情報システムの稼働等による業務の効率化を一層推し進め、業績の確保に努めました。

この結果、営業収益は、物流部門で、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が懸念されたものの、倉庫、陸上運送、港湾運送及び国際運送取扱の各事業において貨物取扱が増加し、不動産部門で、神戸ハーバーランド商業施設「umie」等が寄与した一方、オフィスビル等の需要減退の影響やマンション販売物件の減少等により収入が減少したものの、全体として前期比62億円(3.1%)増の2,043億6千2百万円となりました。また営業原価は、物流部門で、貨物取扱の増加に伴い作業運送委託費等が増加したほか、不動産部門で、前期に計上した神戸ハーバーランド商業施設umie等の開業に伴う一時費用がなくなり、マンション販売物件の減少に伴い不動産販売原価等が減少したものの、日本橋ダイヤビルディングの新規稼働に伴う減価償却費の増加や不動産取得税等の一時費用の計上等があったため、全体として前期比62億8千4百万円(3.6%)増の1,832億2千6百万円となり、販売費及び一般管理費は、日本橋ダイヤビルディングの新規稼働に伴う本社の一時費用の計上等により、同6億1千5百万円(6.8%)増の96億8千6百万円となりました。

このため、営業利益は、物流部門で増益、不動産部門で減益となり、全体として前期比6億9千9百万円(5.8%)減の114億4千9百万円となりましたが、経常利益は、受取配当金や持分法による投資利益の増加等により、同3億4千2百万円(2.4%)増の144億5千6百万円となりました。また当期純利益は、当期の法定実効税率引下げ等に伴う法人税等の負担減少もあり、前期比6億1千3百万円(7.2%)増の91億3千3百万円となりました。

今後の世界経済は、米国で景気の着実な回復が続くと見込まれるほか、欧州で次第に持ち直しに向かい、中国など新興国では緩やかな拡大傾向が続くものと期待されます。またわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続かなかで、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されます。

こうした経済情勢にあって、当社グループを取り巻く事業環境は、倉庫及び港湾運送等物流業界においては、貨物量の緩やかな増加が見込まれるものの競争の激化等により厳しい状況が続き、また不動産業界においては、賃貸オフィスビルの需給改善が見込まれるものの本格的な賃料水準の回復による業況の改善にはなお時間を要するものと思われま

す。このような事業環境の下、当社グループは、平成25年度を初年度とする3カ年の中期経営計画

[2013-2015]に沿って、グローバル化に対応したロジスティクス事業の一層の拡充及び賃貸を中心とする不動産事業の拡充等により、持続的な成長を図ります。



当期の期末配当金は、当期業績等を勘案し、当期中間配当金と同額の1株につき6円とさせていただきます。これにより、中間配当金を加えた年間の配当金は、前期と同額の1株につき12円となります。

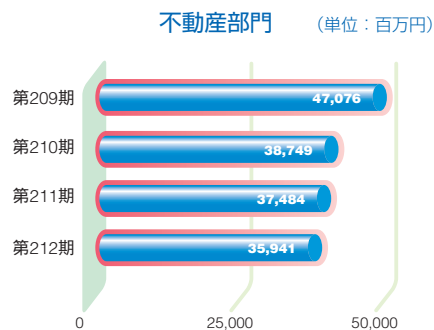
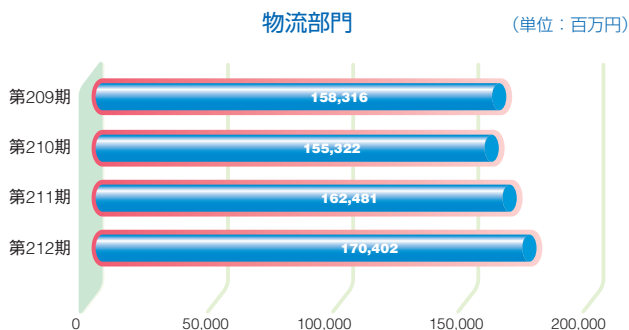
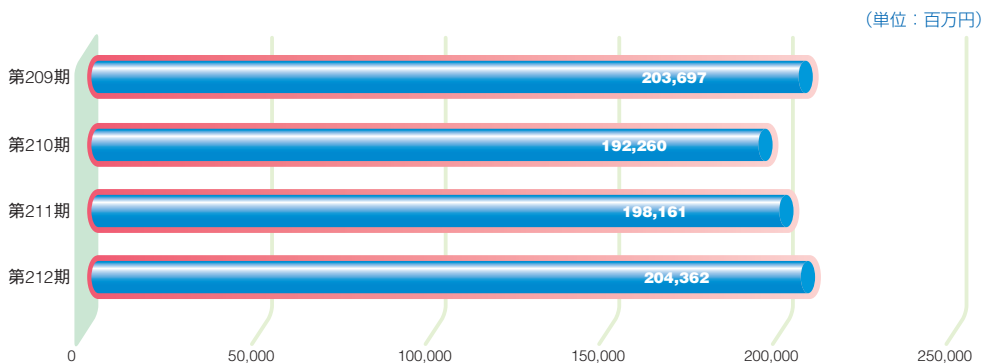
また、次期の配当金につきましては、利益水準を考慮した安定的配当を行うとの基本方針により、特別の事情がない限り、中間配当金・期末配当金はそれぞれ1株につき6円とし、年間配当金は当期と同額の1株につき12円とさせていただきます。予定であります。

今後ともなにとぞ一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

取締役社長 松井明生

営業収益の推移（連結）



部門別内訳

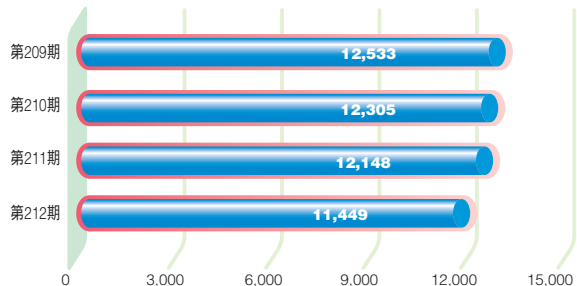
区 分	第209期	第210期	第211期	第212期
物 流 部 門	158,316 百万円	155,322 百万円	162,481 百万円	170,402 百万円
倉庫事業	36,253	36,594	37,498	38,911
陸上運送事業	39,776	40,578	42,645	44,085
港湾運送事業	17,462	16,740	16,623	17,457
国際運送取扱事業	47,142	43,627	46,934	50,486
その他	17,682	17,781	18,778	19,461
不 動 産 部 門	47,076	38,749	37,484	35,941
不動産賃貸事業	31,408	30,254	30,133	30,107
その他	15,668	8,494	7,351	5,833
部門間取引消去	△ 1,695	△ 1,810	△ 1,804	△ 1,981
合 計	203,697	192,260	198,161	204,362

(注) 部門間取引消去は、物流部門と不動産部門の営業収益に含まれる部門間取引分の消去である。

利益の推移（連結）

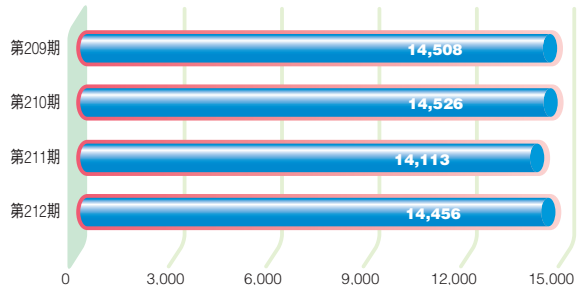
営業利益の推移

(単位：百万円)



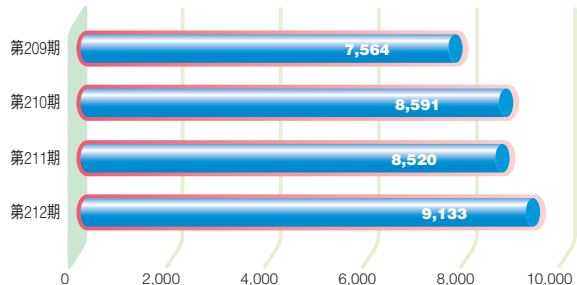
経常利益の推移

(単位：百万円)



純利益の推移

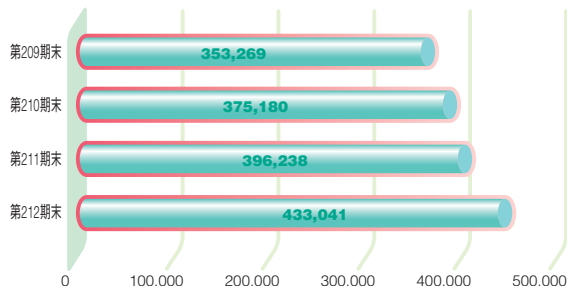
(単位：百万円)



資産の推移（連結）

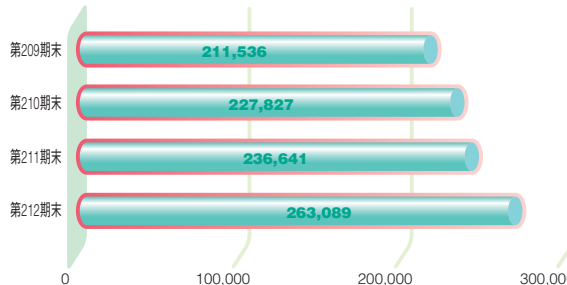
総資産の推移

(単位：百万円)



純資産の推移

(単位：百万円)



- (注) 1 営業収益について、第210期が減少したのは、国際運送取扱及び港湾運送の両事業において貨物取扱が減少したこと並びにマンション販売物件が減少したこと等によるものである。
- 2 営業利益について、第211期及び第212期(当期)が減少したのは、倉庫、賃貸用施設及びオフィスビルの新規稼働や大規模改修に伴う一時費用の計上及び減価償却費の増加等によるものである。
- 3 純利益について、第210期が増加したのは、第209年に税制改正による法人実効税率引下げに伴う繰延税金資産の取崩しを行ったこと等によるものである。



トピックス

海外におけるロジスティクス事業の拡充

当社は、中期経営計画[2013-2015]の基本戦略として国内外一体のロジスティクス事業の拡充を掲げ、成長が望めるアメリカ、中国、東南アジア等を中心に、当社グループの強みを活かした事業展開を加速しています。

1. 中国における倉庫・配送ネットワークの拡充

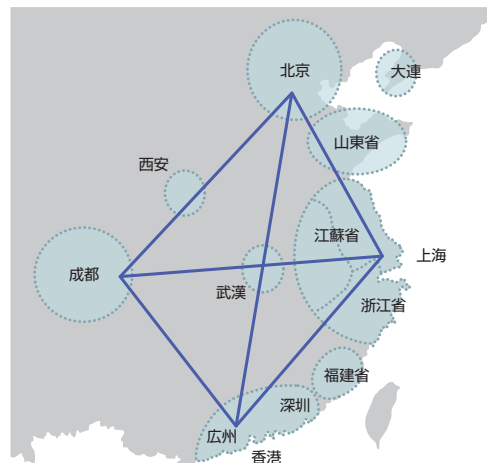
中国では、国内消費の増加に伴い、主要都市での配送センターの需要が拡大しており、日系メーカーを中心に、中国国内でも日本と同様の物流サービスレベルを求める声が高まっています。

当社グループは、中国国内における倉庫・配送ネットワークの強化に取り組み、日本で培った高品質な物流サービスのノウハウを中国でも活かし、家電、オフィス機器、医薬品、自動車部品などの配送センターを中国各地で展開しています。

現在、北京、上海、広州、成都、武漢など物流の要となる地域に総面積20万㎡を超える倉庫・配送センターを運営しており、これらを拠点に中国各地を結ぶトラックの配送網を整え、物流サービスを「点」ではなく、「面」で提供できる体制を構築しています。

このほか、中国国内物流のみならず、船舶や航空機により中国と世界各地をつなぐ国際輸送事業の一層の拡大のため、更なる拠点拡充と機能強化を図っています。また、中国における物流事業統括会社である上海市の三菱倉庫(中国)投資有限公司が主体となって、中国ビジネス全体の戦略を策定するとともに、当社ブランドによる営業力強化、経営・管理の効率化を推し進めています。

当社グループは、今後も経済成長を続ける中国におけるロジスティクス需要に対応し、物流事業の拡充を図ってまいります。



中国国内ネットワーク(青線は幹線輸送網)

2. 米国で倉庫を取得

当社が100%出資する米国三菱倉庫会社(以下「MLA」)は、好調な米国経済を背景とする輸入貨物の増加に対応するため、平成27年3月に米国・ロスアンゼルス近郊に倉庫を取得し、「MLAロスアンゼルス配送センター」として4月から運営を開始しました。

同倉庫は、ロスアンゼルス国際空港とロングビーチ港のほぼ中間に位置し、付近には高速道路のインターチェンジもある交通至便な場所に立地しています。

同倉庫では、主に日系家電メーカー製品の配送センターを運営しています。また、事務所部分にはMLAのロスアンゼルス支店が移転しました。

MLAは、これまで国際輸送事業を主力としてきましたが、今回の倉庫取得、運営開始により、保管を含めた物流サービスを一層拡充します。倉庫運営を主力とする加州三菱倉庫会社(当社100%出資)とも連携し、引き続き米国におけるロジスティクス事業の拡充に注力してまいります。



MLAロスアンゼルス倉庫

MLAロスアンゼルス倉庫の概要

- (1) 所在地 米国・カリフォルニア州トーランス市
- (2) 延床面積 約13,200㎡(平屋建一部2階建)
- (3) 竣工日 平成25年11月
- (4) 使用目的 家電製品配送センター、化学繊維製品等の保管



「京都大学熊野職員宿舍整備・運営事業」に参画

当社は、国立大学法人京都大学(以下「京都大」)が行う官民連携の「京都大学熊野職員宿舍整備・運営事業」を一括受託しました。同事業は、京都市左京区所在の京都大所有地に職員宿舍を建設し、その運営を行うものです。

施設の着工は平成28年4月、竣工は同29年2月、運営開始は同年3月を予定しています。

当社は、中期経営計画[2013-2015]の基本戦略に掲げたビル賃貸事業以外のビジネスの拡大に向け、官民連携(Public Private Partnership : PPP)分野での積極的な事業展開を進めています。

当社の同分野での事業は、平成25年に運営を開始した「神奈川県警察職員宿舍整備運営事業」、同29年4月に運営開始予定の「電気通信大学100周年キャンパス整備・運営事業」に引き続き、本事業で3件目となります。

当社は、これらの事業で培った経験と実績を活かして、今後も同分野での事業の拡大を図ってまいります。



完成予想図

当社グループの概要 (平成27年3月31日現在)

三菱倉庫(株)



連結子会社 (50社)

東 菱 倉 運 輸 (株)	内 外 フォ ワー ディング (株)
埼 菱 サ ッ ト ワー ス (株)	九 州 菱 倉 運 輸 (株)
D P ネ イ ヤ サ ー ビ ス (株)	門 博 菱 港 運 輸 (株)
東 京 ダ イ ヤ 情 報 シ ス テ ム (株)	西 博 菱 邦 海 運 (株)
ダ イ ヤ 倉 運 輸 (株)	佐 菱 サ ー ビ ス (株)
菱 二 ト フォ ワー ディング (株)	国 米 三 菱 倉 庫 会 社 (株)
京 浜 内 外 フォ ワー ディング (株)	加 州 三 菱 倉 庫 会 社 (株)
東 菱 土 企 業 流 (株)	欧 州 三 菱 倉 庫 会 社 (株)
富 京 重 機 運 輸 (株)	富 士 物 流 ヨーロッパ 会 社 (株)
東 京 重 機 運 輸 (株)	三 菱 倉 庫 (中 国) 投 資 有 限 公 司
工 ス アイ アイ ・ ロジスティクス (株)	上 海 菱 華 倉 庫 運 輸 有 限 公 司
富 士 物 流 オペレーションズ (株)	上 海 青 島 科 儲 管 理 有 限 公 司
富 士 物 流 サ ー ビ ス (株)	富 士 国 際 貨 運 (中 国) 有 限 公 司
金 中 港 部 買 入 易 倉 庫 (株)	富 士 物 流 (大 連 保 税 区) 有 限 公 司
名 菱 洋 企 業 輸 庫 (株)	富 士 物 流 (上 海) 有 限 公 司
旭 菱 洋 企 業 輸 庫 (株)	香 港 三 菱 倉 庫 会 社 (株)
阪 菱 洋 企 業 輸 庫 (株)	富 士 物 流 (香 港) 会 社 (株)
神 菱 洋 企 業 輸 庫 (株)	泰 国 三 菱 倉 庫 会 社 (株)
	印 度 尼 西 亞 三 菱 倉 庫 会 社 (株)
	富 士 物 流 マレーシア 会 社 (株)

ダイヤビルテック (株)
横浜ダイヤビルマネジメント (株)
中 買 開 発 (株)
名古屋ダイヤビルテック (株)
大阪ダイヤビルテック (株)
神戸ダイヤサービス (株)
神戸ダイヤメンテナンス (株)
株 タ ク ト

持分法適用会社 (3社)

日本コンテナ・ターミナル (株)	Jupiter Global Limited
株 草 津 倉 庫	

主要な事業内容 物流部門	
倉庫事業	寄託を受けた物品の倉庫における保管及び出入庫荷役等を行う事業
陸上運送事業	貨物自動車による運送、利用運送等を行う事業
港湾運送事業	港湾において沿岸荷役、船内荷役等を行う事業
国際運送取扱事業	国際間の物品運送の取扱(国内における海運貨物取扱を含む。)を行う事業
不動産部門	不動産の売買・賃貸借・管理及び建設工事の請負・設計・監理等を行う事業

連結貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	百万円	(負債の部)	百万円
流動資産	(90,519)	流動負債	(59,312)
現金及び預金	38,493	支払手形及び営業未払金	20,326
受取手形及び営業未収金	32,569	短期借入金	18,042
有価証券	6,600	1年内償還予定の社債	7,000
販売用不動産	6,040	未払法人税等	2,794
繰延税金資産	1,906	取締役賞与引当金	35
その他	4,992	その他	11,113
貸倒引当金	△ 82	固定負債	(110,640)
固定資産	(342,522)	社債	27,000
有形固定資産	(200,604)	長期借入金	24,265
建物及び構築物	117,719	長期預り金	22,972
機械装置及び運搬具	4,441	繰延税金負債	22,125
土地	73,861	役員退職慰労引当金	172
建設仮勘定	1,333	退職給付に係る負債	13,593
その他	3,248	その他	511
無形固定資産	(16,600)	負債合計	169,952
借地権	7,722	(純資産の部)	
のれん	1,925	株主資本	(206,132)
その他	6,953	資本金	22,393
投資その他の資産	(125,316)	資本剰余金	19,617
投資有価証券	116,932	利益剰余金	164,904
長期貸付金	510	自己株式	△ 783
繰延税金資産	2,461	その他の包括利益累計額	(54,422)
その他	5,527	その他有価証券評価差額金	51,994
貸倒引当金	△ 22	為替換算調整勘定	2,299
投資損失引当金	△ 92	退職給付に係る調整累計額	128
資産合計	433,041	少数株主持分	(2,533)
		純資産合計	263,089
		負債純資産合計	433,041

(単位未満切捨)

連結損益計算書

(平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで)

科 目	金 額
	百万円
営業収益	(204,362)
倉庫保管料	22,765
倉庫荷役料	16,145
陸上運送料	44,085
港湾荷役料	17,453
国際運送取扱料	50,486
不動産賃貸料	32,063
その他	21,361
営業原価	(183,226)
作業運送委託費	88,206
人件費	34,531
施設賃借費	8,506
減価償却費	13,052
その他	38,929
営業総利益	21,135
販売費及び一般管理費	9,686
営業利益	11,449
営業外収益	(3,909)
受取利息及び配当金	2,517
持分法による投資利益	486
その他	905
営業外費用	(902)
支払利息	768
その他	133
経常利益	14,456
特別利益	(2,289)
固定資産処分益	78
投資有価証券売却益	2,106
投資損失引当金戻入額	68
施設解約補償金	35
特別損失	(1,894)
固定資産処分損失	1,097
減損損失	727
本社移転費用	70
税金等調整前当期純利益	14,851
法人税、住民税及び事業税	5,078
法人税等調整額	488
少数株主損益調整前当期純利益	9,284
少数株主利益	150
当期純利益	9,133

(単位未満切捨)

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで)

科 目	金 額
	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,691
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 20,562
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,638
現金及び現金同等物に係る換算差額	272
現金及び現金同等物の増加額	2,040
現金及び現金同等物の期首残高	41,236
現金及び現金同等物の期末残高	43,276

(単位未満切捨)

①資産合計
日本橋ダイヤルディングの新規稼働に伴い「建物及び構築物」等が増加したほか、株式相場回復に伴い「投資有価証券」が増加したため、前期末比368億2百万円の増加となった。

②純資産合計
当期純利益の計上により「利益剰余金」が増加したほか、株式相場回復に伴い「その他有価証券評価差額金」が増加したため、前期末比264億4千7百万円の増加となった。

③営業収益
物流部門で、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が懸念されたものの、倉庫、陸上運送、港湾運送及び国際運送取扱の各事業において貨物取扱が増加し、不動産部門で、神戸ハーバーランド商業施設umie等が寄与した一方、オフィスビル等の需要減退の影響やマンション販売物件の減少等により収入が減少したものの、全体として前期比62億円(3.1%)の増加となった。

④営業原価
物流部門で、貨物取扱の増加に伴い作業運送委託費等が増加したほか、不動産部門で、前期に計上した神戸ハーバーランド商業施設umie等の開業に伴う一時費用がなくなり、マンション販売物件の減少に伴い不動産販売原価等が減少したものの、日本橋ダイヤルディングの新規稼働に伴う減価償却費の増加や不動産取得税等の一時費用の計上等があったため、全体として前期比62億8千4百万円(3.6%)の増加となった。

⑤営業利益
物流部門で増益、不動産部門で減益となり、全体として前期比6億9千9百万円(5.8%)の減少となった。

⑥経常利益
受取配当金や持分法による投資利益の増加等により、前期比3億4千2百万円(2.4%)の増加となった。

⑦当期純利益
当期の法定実効税率引下げ等に伴う法人税等の負担減少もあり、前期比6億1千3百万円(7.2%)の増加となった。

⑧営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前当期純利益や減価償却による資金の留保等により、206億9千1百万円の増加となった。

⑨投資活動によるキャッシュ・フロー
固定資産の取得による支出等により、205億6千2百万円の減少となった。

⑩財務活動によるキャッシュ・フロー
社債の償還による支出や配当金の支払等があったものの、借入れによる収入により、16億3千8百万円の増加となった。

連結株主資本等変動計算書

(平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで)

	株主資本					その他の包括利益累計額					少数株主 持 分	純資産 合 計
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に 係る調整 累 計 額	そ の 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
当 期 首 残 高	22,393	19,617	157,685	△ 747	198,950	35,043	956	△ 550	35,450	2,241	236,641	
会計方針の変更による 累積的影響額			188		188						188	
会計方針の変更を反映 した当期首残高	22,393	19,617	157,874	△ 747	199,138	35,043	956	△ 550	35,450	2,241	236,830	
当 期 変 動 額												
剰 余 金 の 配 当			△ 2,103		△ 2,103						△ 2,103	
当 期 純 利 益			9,133		9,133						9,133	
自己株式の取得				△ 36	△ 36						△ 36	
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						16,950	1,342	679	18,972	292	19,264	
当 期 変 動 額 合 計	—	—	7,030	△ 36	6,993	16,950	1,342	679	18,972	292	26,258	
当 期 末 残 高	22,393	19,617	164,904	△ 783	206,132	51,994	2,299	128	54,422	2,533	263,089	

(単位未満切捨)

貸借対照表（個別）

（平成27年3月31日現在）

科 目	金 額	科 目	金 額
（資産の部）	百万円	（負債の部）	百万円
流 動 資 産	〔 53,813〕	流 動 負 債	〔 44,668〕
現金及び預金	17,583	営業未払金	12,478
受取手形	355	短期借入金	14,929
営業未収金	19,390	1年内償還予定の社債	7,000
有価証券	6,000	未払金	3,268
販売用不動産	6,040	未払法人税等	2,206
前払費用	632	前受金	2,691
短期貸付金	300	預り金	1,413
繰延税金資産	1,273	取締役賞与引当金	35
立替金	1,406	その他	643
その他	839	固 定 負 債	〔 96,603〕
貸倒引当金	△ 8	社 債	27,000
固 定 資 産	〔 328,124〕	長期借入金	21,711
有形固定資産	〔 179,960〕	長期預り金	21,402
建物	104,970	繰延税金負債	20,665
構築物	2,270	退職給付引当金	5,824
機械及び装置	3,333	負 債 合 計	141,272
車両運搬具	376	（純資産の部）	
工具、器具及び備品	1,871	株 主 資 本	〔 189,435〕
土地	65,812	資 本 金	〔 22,393〕
建設仮勘定	1,325	資 本 剰 余 金	〔 19,387〕
無形固定資産	〔 12,554〕	資 本 準 備 金	19,383
借地権	7,673	その他資本剰余金	4
ソフトウェア	4,499	利 益 剰 余 金	〔 148,401〕
その他	381	利 益 準 備 金	3,121
投資その他の資産	〔 135,609〕	その他利益剰余金	145,280
投資有価証券	107,049	自家保険積立金	6,928
関係会社株式・出資金	25,620	圧縮記帳積立金	15,468
長期貸付金	581	特別償却積立金	743
差入保証金	3,577	別 途 積 立 金	113,740
その他	387	繰越利益剰余金	8,400
貸倒引当金	△ 15	自 己 株 式	〔△ 747〕
投資損失引当金	△ 1,593	評 価 ・ 換 算 差 額 等	〔 51,230〕
資 産 合 計	381,937	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	〔 51,230〕
		純 資 産 合 計	240,665
		負 債 純 資 産 合 計	381,937

（単位未満切捨）

損益計算書（個別）

（平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで）

科 目	金 額
営 業 収 益	〔 141,638〕
倉庫保管料	16,999
倉庫荷役料	9,348
陸上運送料	23,060
港湾荷役料	15,871
国際運送取扱料	32,716
不動産賃貸料	29,516
その他	14,126
営 業 原 価	〔 128,868〕
作業運送委託費	69,116
人件費	11,571
施設賃借費	5,189
減価償却費	11,347
その他	31,643
営 業 総 利 益	12,769
販売費及び一般管理費	4,743
営 業 利 益	8,025
営 業 外 収 益	〔 3,629〕
受取利息及び配当金	3,041
その他	587
営 業 外 費 用	〔 773〕
支払利息	732
その他	40
経 常 利 益	10,880
特 別 利 益	〔 2,388〕
固定資産処分益	33
投資有価証券売却益	2,106
投資損失引当金戻入額	248
特 別 損 失	〔 1,756〕
固定資産処分損	951
減損損失	727
本社移転費用	78
税引前当期純利益	11,512
法人税、住民税及び事業税	3,865
法人税等調整額	278
当 期 純 利 益	7,369

（単位未満切捨）

株主資本等変動計算書（個別）の要旨

(平成26年4月1日から
平成27年3月31日まで)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
当 期 首 残 高	22,393	19,387	143,092	△ 710	184,163	34,696	218,859
会計方針の変更による累積的影響額			43		43		43
会計方針の変更を反映した当期首残高	22,393	19,387	143,136	△ 710	184,206	34,696	218,902
当 期 変 動 額							
剰 余 金 の 配 当			△ 2,103		△ 2,103		△ 2,103
当 期 純 利 益			7,369		7,369		7,369
自 己 株 式 の 取 得				△ 36	△ 36		△ 36
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）						16,534	16,534
当 期 変 動 額 合 計	—	—	5,265	△ 36	5,228	16,534	21,762
当 期 末 残 高	22,393	19,387	148,401	△ 747	189,435	51,230	240,665

(単位未満切捨)

会社の概要 (平成27年3月31日現在)

本店及び支店	本店：東京都中央区 支店：東京、横浜、名古屋、大阪、神戸、福岡
設立年月日	1887年(明治20年)4月15日
資本金	22,393,986,570円
発行済株式総数 (発行可能株式総数)	175,921,478株 (440,000,000株)
従業員数	当社 845名(他社への休職出向者145名は含まれていない。ほかに臨時従業員118名並びに当社グループ内及び当社グループ外からの出向・派遣受入者564名がいる。) 連結 4,452名(当社グループ外への休職出向者64名は含まれていない。ほかに臨時従業員1,375名及び当社グループ外からの出向・派遣受入者992名がいる。)

大株主

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,715 ^{千株}	7.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	11,658	6.7
明治安田生命保険相互会社	9,707	5.5
三菱地所株式会社	7,331	4.2
キリンホールディングス株式会社	5,932	3.4
東京海上日動火災保険株式会社	5,831	3.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,728	2.1
BNPパリバ証券株式会社	3,487	2.0
旭硝子株式会社	3,315	1.9
三菱商事株式会社	3,205	1.8

- (注) 1 株式会社三菱東京UFJ銀行は、上表のほかに当社株式1,500千株を議決権を留保した退職給付信託として信託設定している。
- 2 持株比率は自己株式(628,906株)を除いて算出している。

取締役及び監査役 (平成27年6月26日現在)

役名	氏名	担当又は主な職業
取締役会長	岡本哲郎	
※取締役社長	松井明生	
常務取締役	橋本有一	経理・情報システム・内部監査担当、 情報システム部長
常務取締役	渡部能徳	国際輸送事業担当
※常務取締役	法貴正人	総務・広報・人事・企画担当
常務取締役	高山和彦	倉庫事業担当
常務取締役	宮崎敬典	工務・港運事業・不動産事業担当
取締役	榎原稔	三菱商事株式会社特別顧問
取締役	三木繁光	株式会社三菱東京UFJ銀行特別顧問
取締役	宮原耕治	日本郵船株式会社相談役
取締役	小原祥司	港運事業部長
取締役	原洋一郎	横浜支店長
取締役	平岡昇	倉庫事業部長
取締役	篠原文博	総務部長兼広報室長
常任監査役(常勤)	渡辺徹	
常任監査役(常勤)	吉沢義仁	
監査役	山田洋之助	弁護士
監査役	原田俊教	
監査役	桜井憲二	公認会計士

- (注) 1 ※印は代表取締役を示す。
- 2 取締役のうち榎原 稔、三木繁光、宮原耕治の3氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であり、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同証券取引所に届け出ている。
- 3 監査役のうち吉沢義仁、山田洋之助、桜井憲二の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であり、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同証券取引所に届け出ている。

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会権利行使株主及び 期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	6月
中間配当金受領株主確定日	9月30日
1単元の株式の数	1,000株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
お問合せ先	東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話（フリーダイヤル）：0120-232-711
公告方法	電子公告 公告掲載場所：当社ホームページ（ http://www.mitsubishi-logistics.co.jp/ ） ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、 日本経済新聞に掲載して行います。
上場取引所	東京証券取引所第一部
証券コード	9301

株式に関する手続のご案内

証券会社等の口座に記録された株式

お手続、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ◎郵便物等の発送と返戻に関するご照会 ◎支払期間経過後の配当金に関するご照会 ◎株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話（フリーダイヤル）：0120-232-711
◎上記以外のお手続、ご照会等	お取扱いの証券会社等へお申出下さい。	

特別口座に記録された株式

お手続、ご照会等の内容	お問合せ先	
<ul style="list-style-type: none"> ◎特別口座から一般口座への振替請求 ◎単元未満株式(1,000株未満の株式)の買取請求・買増請求 ◎住所・氏名等のご変更 ◎特別口座の残高照会 ◎配当金の受領方法の指定 	特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話（フリーダイヤル）：0120-232-711
<ul style="list-style-type: none"> ◎郵便物等の発送と返戻に関するご照会 ◎支払期間経過後の配当金に関するご照会 ◎株式事務に関する一般的なお問合せ 	株主名簿 管理人	手続書類のご請求は、以下の方法でも承っております。 電話（フリーダイヤル）： 0120-244-479（24時間自動音声応答） 三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページ （ http://www.tr.mufg.jp/daikou/ ）からの ダウンロード

 **三菱倉庫株式会社**
Mitsubishi Logistics Corporation

〒103-8630

東京都中央区日本橋一丁目19番1号

電話 東京 (03) 3278-6611 (代表)



最新の情報は当社ホームページ
(<http://www.mitsubishi-logistics.co.jp/>)
でご覧いただけますのでご利用下さい。

